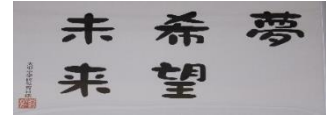


3学年だより



新潟市立大形中学校  
3学年だより No.59  
令和元年7月1日発行  
文責:立川 宏

# 一歩

## 7月に突入

3年生になり、3ヶ月間が過ぎました。

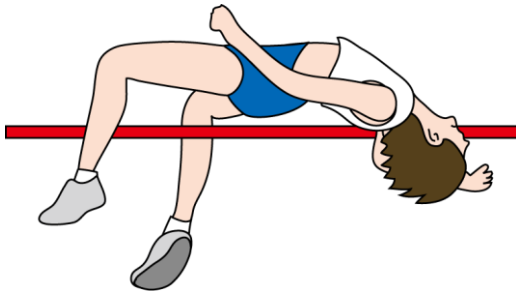
3年生になってから3ヶ月間の行事を振り返ってみましょう。先月後半に最後の市内大会が行われました。中学校の部活動を「3年間の部活動」と表現をしますが、実際は市内大会まで2年と3ヶ月間です。2年と3ヶ月間もあったのに、引退する時期になると、これまでの活動期間が短く感じる人も多いのではないのでしょうか。過ぎた時間とはそういうものです。

本日、市内大会の報告会と県大会の激励会があります。多くの部活動ががんばり、県大会の出場権を獲得しました。おめでとうございます。7月13日(土)・14日(日)の県大会でも最高のパフォーマンスで全力を発揮できるよう、2週間弱という短い期間ではありますが力を付け、調整し、大会に臨んでください。



「3ヶ月」という時間に注目してみましょう。

一般的に物事に取り組み始めてから、成果・結果が出始める時間が3ヶ月と言われています。今から取り組み始めた成果は、10月くらいに結果として表れてくるのです。



今月末から夏休みに入ります。夏休みに入ると、すぐに保護者会が三者面談形式で行われます。生徒のみなさんの様子やがんばりを今後に生かすための保護者会です。今回、三者面談の形で行うのは、12月の保護者会(これも三者面談)でみなさんの希望進路の決定と、そのための受験計画をよりみなさんの理想に近づけるためです。保護者会の用紙提出締切日は、5日(金)です。

受験に関して言えば、努力をすれば合格の可能性は高まります。しかし、他の受験生の実力は、その時になってみないとわかりません。結果をよりよいものにするために、そこからまた継続したがんばりが必要です。



自信をもって受験に臨むためには、自分が取り組んだがんばりが実力テストなどで、結果となっていないといけません。きっと結果が出て不安は残ると思います。しかし、取り組まなければ、不安しかない状態で受験しなければいけません。取り組みもせずに「私は大丈夫」と言う人は、何を持って大丈夫というのでしょうか？

学生は、忙しいです。そして受験生は、進路決定に対する一層の努力も必要ですし、精神的にもたいへんです。「忙しい」「たいへん」だけそのまま受け止めると苦しいだけですが、それを乗り越えた経験は、必ずみなさんを一回り大きく成長させてくれるでしょう。